

TP9

井戸の可能性のある遺構を確認した。出土遺物は1630～40年代を下限とする製品であった。また、縄文後期の土器が1点出土した。



土層断面状況（東から）



出土遺物

TP10

4代目県庁舎の基礎杭と基礎の割栗石を確認した。



石敷検出状況（西から）

TP11

4代目県庁舎の基礎杭と基礎の割栗石を確認した。



石敷検出状況（東から）



溝状落ち込み完掘状況（西から）

TP12

4 代目県庁舎の基礎杭と基礎の割栗石を確認した。



基礎杭検出状況（南から）

TP13

3 代目県庁舎と考えられるレンガ造構造物を確認した。



レンガ造構造物検出状況（南から）

このほかに、西端の一部で瓦と漆喰片が混じった土層を確認した。

少なくとも 2 面の遺構面を確認しており、上層からは肥前産見込荒磯雲龍文鉢片ひぜんさんみこみあらいそうんりゅうもんはちへんや景德鎮けいとくちん窯産ようさんの碗片など 1660 年代を下限とする遺物が確認された。下層に存在する出土遺物は 1630～40 年代を下限とする。



検出状況（南から）



出土遺物

TP14

石垣か石塀の一部が壊れていると考えられる石が並んでいる状況を確認した。



レンガ造構造物検出状況（東から）

TP15

3代目県庁舎の時代の建物跡と考えられるレンガ造構造物を確認した。



レンガ造構造物検出状況（北から）

また、このレンガ造構造物を除却した直下から瓦や漆喰、陶磁器などの遺物が包含する土層を確認した。製作年代が1610～30年代と考えられるものが多い。



サブトレンチ南壁土層断面状況（北から）



サブトレンチ出土遺物

TP16

3代目県庁舎の時代の建物跡と考えられるレンガ造構造物を確認した。



レンガ造構造物検出状況（北から）

TP17

瓦と漆喰片が混じった土層を確認した。また、土坑から瓦片や陶磁器を確認した。



掘削状況（西から）



出土遺物

TP18

3代目県庁舎の時代の建物跡と考えられるレンガ造構造物や瓦と漆喰片が混じった土層を確認した。



s レンガ造構造物検出状況（北から）